

令和元年度 佐々町社協

福祉教室

八月五日(月)に毎年恒例の福祉教室を開催しました。

中学生2名、高校生4名、合計6名が「認知症の方への理解を深める」ための学習を行いました。

初めのうちは、認知症に対するイメージは「何もできなくなつた人」のようなネガティブなものでした。しかし、講義や当事者の方々と接していく中で、次第に「手助けがあれば、何でもできる人」に変わっていき、テーマ通りの学習ができたものと思えます。皆様のご協力をいただき、無事に終了することができました。本当にありがとうございました。

認知症サポーター養成講座



笑顔が絶えないひと時でした。

協力：佐々町地域包括支援センター

認知症の家族を介護した経験があり、ご自身も認知症の診断を受けている方にご協力いただきました。



認知症についての講義

開校式



大浦会長の挨拶で、福祉教室が開校しました。

学校を問わず、町内の中・高校生が参加する貴重な機会となりました。

調理実習



ドライカレー、イタリアンスープ、ヨーグルトゼリーの完成！

協力：佐々町健康相談センター



BMIを計算。



「ちょうどよかよ。」

健康相談センターの管理栄養士さん、みどり会の小林会長から「食」について講義を受けた後、昼食を作りました。野菜たっぷりでもバランスの取れた美味しいメニューでした。

交流活動



みんなで食べるとおいしいね。



食べたなら体を動かそう！

協力：グループホーム愛乃郷



利用者の皆さんから手ほどきを受けながらあんみつを作りました。



グループホーム愛乃郷へ移動して、利用者の皆さんとの交流活動。初めのうちは、緊張していた生徒たちでしたが、利用者の皆さんと一緒に作ったおやつが、出来上がるころには、すっかり打ち解けていました。



中学生とおしゃべりを楽しむ利用者さん。